

# 第3回 中央委員会

## ～年内最後の中央委員会～

### 一年間の総括と政治活動強化が決定される～

十一月二十六日(金) 十四時からアークホテル京都に於いて、京交第三回中央委員会が開催された。冒頭、瀬戸執行委員長から「①二〇一〇年を振り返って②駅ナカビジネス(コトチカ) 開業について③都大路作戦について④来年実施される統一地方選挙について⑤京交の政治活動について」挨拶が述べられ報告事項並びに議案事項の審議に入った。報告事項では、第八十二回定期大会で決定した規約改正に係る批准投票の詳細が確認されるなど全議案が承認、続く議案事項では、二〇一〇年度第一四半期の決算が承認されるとともに、労働組合の使命のひとつでもある政治活動に関する政治資金の支出についても決定された。今後、コンプライアンス遵守の下、準組織内である今枝徳蔵議員の必勝に向け運動を展開していかねばなりません。組合員の総力を結集し、最後の最後まで闘い抜こう!



年内最後の挨拶を述べる瀬戸執行委員長



エンパワメント活動報告を報告する電整支部



報告を聞き入る中央委員



京都交通労働組合

電話(075)841-0948  
発行者 瀬戸 高志  
編集者 佐田 悟

・一 面・  
・第3回中央委員会  
・各種委員会レジメ  
・おまけ

・二・三 面・  
・「安全・安心・信頼の公営交通確立キャンペーン2010」

・四・五 面・  
・限界集落での農園体験 in ハンサム・ガーデン大原百井の里ファーム

・六 面・  
・自動車部・電車部共同厚生行事 ハロウィン in USJ  
・嘱託部会 秋の日帰りバス旅行 in 三重県湯の山温泉  
・都夢ちゃんのひとり言  
・～統一地方選挙必勝に向けて～準組織内候補レポート



## 各種委員会レジメ

2010.11.9  
壬生操車場会議室

### 第7回 執行委員会

報告事項

- 連合関係
  - 統一地方選挙推薦予定候補者逮捕に関する見解について (別紙)
- 都市交関係
  - 人勧の取り扱いを巡る状況について (別紙)
- 市労連関係
  - 執行委員会及び団体交渉について (別紙)
- 対局関係
  - 京都仏教会との共同によるトラフィカ京カードについて (別紙)
  - 秋の観光シーズンにおける市バス・地下鉄の運行について (別紙)
  - HAPPYBUSの運行について (別紙)
- その他

議案事項

- 2011年統一自治体選挙に係る推薦候補者について (別紙)
- その他

2010.11.24  
壬生操車場会議室

### 第8回 執行委員会

報告事項

- 12月日程について (別紙)
- 市労連関係
  - 執行委員会及び団体交渉について (別紙)
- 対局関係
  - 団体交渉について (別紙)
  - 準高齢特別退職実施要領及び再雇用申込書について (別紙)
  - 健保解散に伴う給与明細の変更について (別紙)
- その他
  - 組合規約改正に係る批准投票の実施について (別紙)
  - 労金京都地区推進委員学習会について (別紙)
  - 電整支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)

議案事項

- 2010年度第1四半期会計決算並びに監査報告について (別紙)
- 2011年統一自治体選挙に係る推薦候補者について (別紙)
- 政治活動に関する資金の支出について (別紙)
- 東西線乗務支部エンパワメントプランについて (別紙)
- 東西線駅務支部エンパワメントプランについて (別紙)
- その他

2010.11.26  
アークホテル京都

### 第3回 中央委員会

執行委員長あいさつ

報告事項

- 12月日程について (別紙)
- 市労連関係
  - 執行委員会及び団体交渉について (別紙)
- 対局関係
  - 団体交渉について (別紙)
  - 準高齢特別退職実施要領及び再雇用申込書について (別紙)
  - 健保解散に伴う給与明細の変更について (別紙)
- 共済組合関係
  - 共済組合(短期給付)制度について (別冊)
- その他
  - 組合規約改正に係る批准投票の実施について (別紙)
  - 電整支部エンパワメントプラン活動報告について (別紙)

議案事項

- 2010年度第1四半期会計決算並びに監査報告について (別冊)
- 政治活動に関する資金の支出について (別紙)
- その他



先月末に閉幕した上海万博の日本産業館に白ハト食品工業(大阪府守口市)が出店した、たこ焼き屋「たこ家道頓堀くくる」は、半年間の会期中、五十万食を売り切った。たこ焼きが入った高さ一・五センチの箱を積み上げると七五〇〇メートルと、「富士山の高さの二倍」に相当する人気ぶりだった。同社の永尾俊一社長は上海市内で取材に応じ、「初めて食べた人がほとんどで、日本を代表するファストフードが認知された」と胸を張った。年明けにも中国に一号店を出店し、本格進出する方針という。万博で販売したたこ焼きは八個入り三十五元(約四二〇円)と日本並みの価格ながら、十月には最大二時間待ちの行列ができ、円に換算後の売り上げは当初目標の一・六倍の約二億四〇〇〇万円。日本国内約五十店舗の年間売り上げの割を半年で稼いだ計算だ。

たこ焼きが大人気  
上海万博で五十万食

おまけ







文化体育共同事業

# 限界集落での農園体験 in ハンサム



たくさん収穫したけどほんの一部です



大きい白菜取りました



生でも美味しいんです



こかぶで〜す



白菜取ったぞ!



ベテランは手際よし



午後は餅つきです



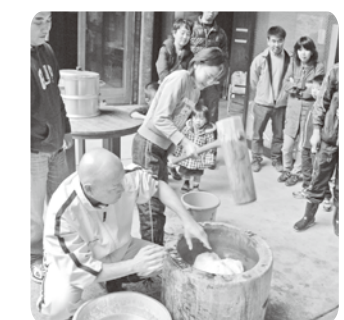
絶品の昼食タイム



子どもたちは大はしゃぎ



親子で息ぴったり



女の子も力持ち



お父さんが楽しんでます



玉米を入れました



子どもたちにとっては初体験?



国際会館に向け家路につきます



お土産用にバック詰め



親子で頑張りました



つきたてのお餅をコネコネ

～2011年度参加者募集～

01 前日(11月27日)現地集合・現地解散

02 当日(11月28日)現地集合・現地解散

03 当日(11月28日)現地集合・現地解散

04 当日(11月28日)現地集合・現地解散

募集内容の年間スケジュール

お問い合わせ先: 0120-994-947

ハンサム・ガーデン体験コースの内容

01 前日(11月27日)現地集合・現地解散

02 当日(11月28日)現地集合・現地解散

03 当日(11月28日)現地集合・現地解散

04 当日(11月28日)現地集合・現地解散

【豆知識】  
 限界集落とは、六十五歳以上の高齢者が、人口比率で住民の五十%を超えた集落のことを指し、長野大学教授である大野晃氏が、高知大学教授時代の一九九一年に最初に提唱した概念と言われています。中山間地や離島を中心に、過疎化・高齢化の進行で急速に増えてきており、このような状態となった集落では、生活道路の管理、冠婚葬祭など、共同体としての機能が急速に衰えてしまいいくための「限界」として表現されています。一九九一年に行なった調査においては、やがて消える集落の数は日本全体で約二〇〇集落以上であるとしています。また、限界集落以前の状態を「準限界集落」と表現し、五十五歳以上の人口比率が五十%を超えている場合とされ、また、限界集落を超えた集落は「超限界集落」から「消滅集落」へと向かうというのです。集落のみならず、近年では「限界自治体」という言葉も唱えられはじめています。私たちの京都に於いても限界集落と呼ばれる里山が一六〇集落を超え、主たる産業がないため危機に瀕しています。こうした状況の打開策と美しい里山を残すため観光と農業を組み合わせた取組体験施設「ハンサム・ガーデン」が設立されました。京都府とセブンイレブンの基金から助成を受け運営しているということですので興味のある方は一度ホームページにアクセスしてみてください。

# ・ガーデン大原百井の里ファーム

二〇一〇年十一月十四日(日)京都市左京区大原にある標高六三〇メートルの高原集落「ハンサム・ガーデン百井の里ファーム」に野菜の収穫体験に行ってきました。国際会館に集合した五十名の参加者はマイクロバス二台に便乗し、一路、百井へと向かいました。時節柄市内との温度差が五度程度あるとの情報でしたが、当日は寒さより一段落した季節のよい過ごしやすさとなり、普段履き慣れない長靴に軍手姿と農作業やる気満々の参加となりました。現地到着後、交流センターでハンサム・ガーデン代表の窪さんから説明を受けた後、三班に分かれて収穫体験に向かいました。この集落には鹿がたくさん出没することから、畑のあちらこちらに足跡を見ることができましたが、残念ながら遭遇することはありませんでした。もうひとつ残念なことには、この日のために育てていたたほうれん草はすべて食べ尽くされてしまいました。それでも、大人も子供も土に塗れながら、ミニ白菜・みぶ菜・こかぶ・九条ネギ・はたけ菜・しゅん菊などたくさん収穫し、自然の恵みに感謝するとともに貴重な体験をしました。また、無農薬栽培ということもあり、収穫と同時に試食し、新鮮でみずみずしい野菜本来の旨味を味わうことができた感動の連続でした。一仕事終わったお昼には取れたての野菜と地鶏を使った鍋料理を堪能し、新鮮な具材と大自然というスパイスが重なって、なによりのご馳走となり隣りに完食となりました。午後からは、餅つき大会を実施しました。昨今、機械で自動的にできるお餅が多いなか、餅

窪氏にお世話になりました

した。最後に、交流センター前で全員の記念写真を撮影し、ハンサム・ガーデンの思い出の袋いっぱいの野菜を手土産に帰路につきました。今回を過ごせたことに御礼を申し上げるとともに、早朝よりお手伝いいただいた文芸役員さんへ感謝申し上げます。今回の経験を1回限りで終わらせるのではなく、限界集落支援という観点に立ち、京交の未来を担う青年女性委員会に継続した取り組みを



青年女性委員会メンバー



青年女性委員会メンバー



ドキドキワクワク



集合写真 …みんないい顔してます…



ファームに向けて出発



体験前の説明を聞きました



私たち文体委員がお手伝いしました

と木白を用意し、大きなかけ声とともに男性・親子ペア・男の子・女の子と順番につき手と返し手の絶妙なタイミングで白餅とよもぎ餅六分分をつきました。女性や子どもたちは小餅に手際よく成形し、お持ち帰りの用バックに詰めたいだきましたが、どうしても我慢できなかったのか、いついつまみ食いする光景も見受けられました。ただ、みんなでひとつのことをやり遂げるという目標を持って望んだ甲斐もあって、ひとつの輪ができあがり大変盛り上がりま



実施するよう要請しています。「何ができるか。集中と選択」の視点に立って活動するよう期待しています。ご参加いただいた会員の皆さんありがとうございました。写真も掲載できなかった皆さんごメンナサイ



体験前の説明を聞きました



